



つながる？ つながらん？ : 山田の場合。

ズドン。

「わーっ！！」4月14日、21時半。我が家はマンションの最上階で、突き上げの揺れ(前震)。次の瞬間、壁固定していない薄型テレビを必死になって押さえていた。思わず苦笑する。近所の公園に一旦避難。人恋しさ(?)に職場へ移動し、一晩を過ごした。

夜が明け、研究室へ。ドアは無事に開き、「あちゃー、めーいっぱい落ちたなー。土日でのんびり片付けるか。」汚部屋を片付けるいい機会だと、無駄にポジティブになる。一方、図書館は？ 管財課スタッフから写真を見せてもらう。「大丈夫なの？ まじ？ 書架壊れとるし。ガラス割れとるやん。あちゃー。」

その後、熊本県北の実家へ避難し、16日の本震を迎えた。研究室のドアは、17日には開かず。自宅もぐちゃぐちゃ。ポーゼンとするしかなかった。無意識では、つながりを感じたかったのだろう。SNSでは、尋常ではない頻度で地震関連情報へのリンクを貼り、へんてこ熊本弁日記を投稿。いいね！の数を見ては、安堵していたような。(この時期の記事を読むと、今でも手が震える。)

5月になり、近隣図書館の被害状況を知ること。書架の破損、資料の水損、構造物の落下…。何も手伝えない自分に歯がゆさを感じる。ただ、一つの疑問が。「図書館で、すぐ再開しなきゃいけないの？」県外の図書館を見学するも、4m近くある壁面書架には怖くて近づけなかった。そんな中、岡本さん、Hさん、T先生、Sさん、Kさんの来熊は心強かったし、嬉しかった。

地震から4ヶ月が経ち、被災地は全体的に落ち着きを取り戻しつつある。宇城市中央図書館と益城町図書館を除き、県内ほとんどの公共図書館が程度の差はあれ再開した。我が職場の図書館もやっと工事のめどがつきそうである。

私自身、地震をきっかけにしたご縁が広がった。目を転じて、県内図書館の横のつながりは。。。これから広がるのだろうと、期待したい。「こんにちは一、ガクエンダイのヤマダで一す。」

【山田美幸】



写真:本震後に初めて開けた研究室の様子

ウィキ祭り開催のご案内

日時:2016年9月3日(土)

- (東京会場) 東京工業大学博物館
- (大阪会場) エル・ライブラリー

4年ぶりに「ウィキ祭り」を開催します。

ウィキ祭りとは、ウィキ上の施設ページ作成や編集、加筆をみんなで行うイベントです。会場に集まって作業するのでもかまいませんし、在宅でもかまいません。なお、作業会場として、東京と大阪の2会場を用意する予定です。当日は13時より、遠隔会場をつないでチュートリアル講義を行ったあと、最後に成果発表して、懇親会にしたいと思います。ぜひふるってご参加ください。

【高久 雅生】

saveMLAK 2016年7月期会計報告

<収入>

受取寄付金	2,042	個人
受取寄付金	20,000	図書館サミット有志
計	22,042	

<支出>

源泉徴収税	2,042	税理士報酬
計	2,042	

7月末現在
預金残高 674,297円 (前月比 +20,000円)

【ファンド係:赤塚 昌俊】

統計 7 月末現在

saveMLAK ML アカウント数	286
Wiki 編集者アカウント総数	719
Wiki 編集回数の総計	151,859
総 Wiki ページ数	29,972
総 Wiki 施設ページ数	25,936

【高久 雅生】

6・7 月の出来事と今後の予定

2016 年 6 月 26 日

- ✓ 主催イベント「saveMLAK 報告会 2016」(兼第 64 回 saveMLAK MeetUp)を開催。複数拠点をつないで実施(東京、大阪、福岡)。

2016 年 7 月 29 日

- ✓ 第 65 回 saveMLAK MeetUp を実施。複数拠点をつないで運営ミーティングを実施(東京、大阪、福岡、仙台)。

2016 年 8 月 25 日

- ✓ 第 66 回 saveMLAK MeetUp を実施。複数拠点をつないで運営ミーティングを実施(東京、大阪、福岡)。

2016 年 9 月 3 日

- ✓ うきうきウィキ祭りを開催。複数拠点(東京、大阪)をつないで実施予定。

2016 年 9 月 20 日

- ✓ 第 67 回 saveMLAK MeetUp を実施。複数拠点をつないで運営ミーティングを実施予定。

ご存知ですか。フィレンツェ大洪水

先月 7 月にイタリアで開催された国際会議に出張した際にフィレンツェを訪問していくつかの図書館を見学してきました。

フィレンツェといえば、資料レスキューのさきがけといわれる洪水被害で知られています。フィレンツェの大洪水が発生したのは 1966 年 9 月。今年ちょうど 50 周年の節目の年です。

資料保存の教科書では必ず取り上げられるトピックですが、フィレンツェの街の中心を流れるアルノー川からの洪水が発生し、2メートル近く浸水し、市内の多くの場所でルネサンス以来伝えられてきた貴重な美術品や手稿資料、所蔵品などで被害が出ました。これらを救出するために、世界中から多くのボランティアが駆け付けたことが有名です。

今回の訪問で見学した図書館や博物館等の文化施設でも、洪水当時の写真や被災資料の展示をしているところがありましたし、洪水の浸水線を示して洪水被害の様子を現在に伝えようとしている博物館等もみられました。

アルノー川岸にあるフィレンツェ国立図書館でも、訪問者に向けて被災からの修復資料を展示したり、緊急時の準備や訓練を続けたりしているとの説明があり、被災の記憶の継承を行っている様子が印象的でした。

【高久雅生】



写真:フィレンツェ市内のオブラーテ公共図書館でのフィレンツェ大洪水の写真展示の様子

編集後記

今年も猛暑の真夏が続き、台風も続々とやってきていますが、いかがお過ごしでしょうか。今月号は熊本からの被災経験の貴重な報告もいただきました。ありがとうございます。

9 月にはウィキ祭りを実施します。秋には 11 月には図書館総合展でポスター出展もしますので、引き続きよろしく願いいたします。

【編集担当:高久雅生】

編集発行:saveMLAK プロジェクト

発行日:2016 年 8 月 29 日(第 46 号)

発行所:神奈川県横浜市中区相生町 3-61 泰生ビル

さくら WORKS <関内> 408

アカデミック・リソース・ガイド株式会社内

saveMLAK プロジェクト



E-mail: pr@savemlak.jp

URL: <http://savemlak.jp/>

※saveMLAK ニュースレターはクリエイティブ・コモンズライセンスにより提供、頒布しています。複写・配布等、自由にさせていただいて構いません。

